

(様式)

地域研究委員会・地球惑星科学合同地理教育分科会小委員会の設置について

分科会等名： 地理教育分科会 大学地理教育小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○地域研究委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員および連携会員、その他
3	設置目的	<p>地理学が関係する学部は、理学部、文学部、経済学部、教育学部、地域学部など多岐にわたる。近年、地方の大学に地域学部が増加し、地域行政・教育を担う人材の育成が社会的課題になっている。地域の自然を理解し環境共生の地域づくりや地域調査から地域資源を発掘し、地域情報を GIS などで分析して地域再生や活性化を地域政策として実践できる人材および教員育成の教育環境整備が必要である。文理融合の学問である地理学が大きく貢献できる分野といえる。</p> <p>しかし、日本の大学では、諸外国に比べて1大学当たりの地理学担当教員の数が少なく、自然地理学、人文地理学、地理情報学、地域調査法等を総合的、体系的に教育することが難しい。また、そうした状況を補うような、地理学の標準的な大学テキストが必要である。例えば英語圏には、Peter Haggett の名著 <i>Geography: A Modern Synthesis</i> のように、自然地理学と人文地理学の垣根を超えた総合的地理学観を学ぶことが可能な大学テキストが存在する(本書は、1972年の初版以来、何度も版を重ね、2001年からは <i>Geography: A Global Synthesis</i> のタイトルで現在に至っている)。</p> <p>そこで、本小委員会では、日本の大学教育における文理融合教育を実践する標準的な教科書の作成に向けての検討を行う。また、学士力の向上をはじめ、日本の大学地理教育の質的改善を目指し、提言等を社会に発信する。</p>
4	審議事項	高等教育における地理教育の在り方、日本の大学地理教育のカリキュラム及び文理融合教育の標準テキストの作成などの審議
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 ○常設
6	備考	※委員構成の変更(○○であったため、委員の構成を15名以内から25名以内に改正するもの)

